

第1章、第2章の写真とその説明

第1章第2節

「河川上流中流では岸边に大きな石や岩があることが多い」



* 谷が狭くなる上流部では水流の位置が移動することが少ないので、岸边に大きな石や岩が多くなる傾向がより強いようです。

「特別規模が大きな増水や規模の大きな増水」



左 河川敷も水流の底も、砂や小砂利で埋まった傾斜の穏やかな場所。

右 規模が大きな増水の後に残された小さな水流。

「似かよった大きさの石や岩が集まっています」



* 周囲には似かよった大きさの大きな石や岩が幾つも集まっています。

第1章第3節

「土石流や土砂崩れによる土砂の特徴」



* 巨岩地帯の光景。

第1章第4節

「淵」を形成する「特別大きな石や岩」の役割」



* 特別大きな石や岩であっても単独では「淵」を形成することが困難です。

「特別大きな石や岩であることの意味」



左 岸壁の岸辺に出来た「淵」

右 幾つかの特別大きな岩によって形成された「淵」

「「淵」は、特別規模が大きな増水時には土砂で埋まります」



左 2017年5月土砂によって埋まる前の淵

右 2018年12月増水によって土砂に埋まった淵

「河川工事で「洗掘」と呼ばれている現象」



* 増水後の橋脚に残された小規模な「洗掘」の跡。
上流側と上流側の側面ほど深く掘れています。

第2章第1節 「自然の敷石」



* 流れの底に数多くの石や岩が敷き詰められています。それらの石や岩は比較的似通った大きさです。

「自然の石組」



* 流れの中にある幾つもの「自然の石組」が段差となって流れの傾斜を保っています。「自然の敷石」や「自然の石組」は両岸にも形成されています。これらの流れや岸辺は何年もの間その姿をほとんど変えていません。

上段 右側の写真は左側の少し上流です。

下段 右側の写真は左側の流れの左岸の様子です。

「溪相と「自然の敷石」と「自然の石組」」



*上段は2003年夏、*下段は2017年夏の撮影です。傾斜の大きな谷川のこの付近では春の雪代も夏の大雨もあるのに、10年以上経過しても石や岩の配置はほとんど変わっていません。
大きな石や岩だけでなく、人の頭大の石や岩でも移動していないものがあります。

第2章第3節

「上流と中流の「自然の敷石」と「自然の石組」」



* 農地に残された小さな流れ、小さな石や岩も「自然の敷石」を形成しています。

以前でしたら、都市郊外や農村の何処にでもある普通の光景でした。



* 上段の写真の少し上流の様子。

三面をコンクリートで覆われた流れは浅く平板に流れ、石や小砂利も無く砂や泥が堆積しています。それらの土砂は少しの増水でも容易に下流に流されるでしょう。